

胆江地区衛生センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況
No.7 平成30年11月～平成30年12月
胆江地区衛生センター

■ 余熱利用設備棟の建設は概ね完了し、建物内では機器の据付けが行われています。



■ ボイラ関連機器も続々と搬入されています。

ボイラ加熱水管

汽水胴



焼却炉内の四方に設置し、ごみ焼却の熱を用いて、中を通る水を加熱する水管です。

ボイラ加熱水管で加熱された水を貯留し、発生する蒸気を取り出す円筒状の部分です。

■ 蒸気タービン発電機、非常用発電設備が据え付けられました。(余熱利用設備棟内)

蒸気タービン発電機



※埃等が運転前に機械内部に入らないように養生されています

胆江地区衛生センター場内電力使用量を賄える能力を持っています。

また、災害等による停電時においても連続運転可能なシステムを備えています。

非常用発電設備



※埃等が運転前に機械内部に入らないように養生されています

この非常用発電設備は焼却炉の安全な停止が可能で、かつ、1炉立上げが可能な能力を持っています。

■ ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の工事見学会を開催しました。

平成 30 年 12 月 2 日に奥州市、金ヶ崎町の住民の皆さまを対象に、工事見学会を開催いたしました。当日は、ごみ焼却施設の概要、基幹的設備改良工事の進捗状況などについて説明を行い、午前の部・午後の部を合わせまして 54 名の方に参加をいただきました。

工事見学会の説明の様子



工事現場の見学の様子

